

業務改善計画一覧（概要版）

No.	チーム名	テ　　マ	目的と現状	改　善　案	期待される効果	実行担当課	振分区分
1	防災トライアル チーム	火災による被害軽減のための防災センターの活用	【目的】 （１） 火災件数・火災による被害規模の更なる軽減を図る。 （２） 防災センターでの訓練教育の拡充により、地域全体の防災力を向上させる。 【現状と課題】 （１） 火災の動向と影響について 初期消火の有無により被害規模が大きく変動している。 （２） 防災センターの活用について ア 未就学児や児童、シニア層の利用率は高い一方で、現役世代が中心を占める事業所での利用は進んでいない。 ※現役世代とは２０代～６０代を指す。 イ 消防訓練の実施方法がわからない事業所が多い。	（１） 火災の動向と影響及び各家庭の消火器の設置率と実用性について 消火器使用後の無償交換制度を広報し、市民の消火器使用への心理的ハードルを低減させる。 （２） 防災センターの活用について 事業所における消防訓練の実施回数を公式に認定できる制度の整備。	・防災センター訓練を「消防法に基づく訓練」として公式にカウント ・幅広い世代の訓練参加拡大 ↓ ・企業の法令遵守メリットに直結 ・企業・家庭双方での防災力向上 ↓ 火災被害のさらなる縮小と業務効率の向上に繋がる	予防課 市民防災センター	・実行 ・再検討
2	届け！消防カード ～QRでPR～	消防カードで減らす災害からの被害	【目的】 ファミリー層をターゲットとした消防カードで防火・防災・救命に関する情報を広め、市民とともに消防力の強化を目指す。 【現状と課題】 （１） 現在の消防カードは、興味が一時的で長く活用されることがなかった。 （２） 以前消防カードを作成した際、担当する課や係が明確でなかった。 （３） 消防カードの在庫数が少なくなっている。 （４） 広報活動を様々な媒体で行っているが、情報の偏りと対象年齢層が限られている。	2つのQRコードを掲載した新たな消防カードの作成 （１） カードに掲載したQRコードをスマホで読み取ると山形市公式HPに遷移し、カードの内容に対応した写真や動画、情報を閲覧できる。 ・車両の映像等、現場の生きた映像を届けるQRコード ⇒消防車両や庁舎の写真や映像を掲載したページに遷移 ・最新の公式情報を届けるQRコード ⇒山形市消防本部の注目トピックスのページに遷移 （２） 消防フェスティバル等の各種イベントで市民に配布する。 （３） 実行担当課を総務課とし、カードの管理や作成時の取りまとめ等を行い、カードや遷移先HPの内容の企画等を消防本部内の所属で輪番制とする。今回の企画等は東消防署が実施する。	・子供をきっかけに自然と大人も利用できることで、家庭全体を巻き込む仕組みができ、安全意識を高めることができる。 ・山形市消防本部のページに遷移するQRコードにより、１枚のカードで長く、経済的に広報することができる。 ・市民全体の防火意識を高めることができる。	総務課	・実行 ・再検討